



2023年7月28日版

本ブックレットは、皆さまのご意見やご提案を反映させて更新してまいります。

# CHRONICLE 2023

安全・健康・ウェルビーイングのための  
グローバルイニシアチブ @ EXPO2025 & BEYOND

THE GLOBAL INITIATIVE FOR SAFETY,  
HEALTH AND WELLBEING @EXPO2025  
AND BEYOND



目を背けないでください。

毎日、働く場で命が失われています。

WHO（世界保健機関）の推計によると、全世界の死因の2.1%、疾病の2.7%が職業上のリスクに起因しています。

より安全で健康な職場の実現に向けて取り組むことで、世界中の何百万もの人々の生活を向上し、命を守ることができます。



ILO（国際労働機関）の統計によると、毎年230万人以上が仕事に関連した病気やけがで命を落としています。労働災害は35万人以上の死亡原因となっており、また200万人近くの死因は仕事に起因する疾病によるものとされています。さらに、3億1,300万人以上の労働者が、労働災害により負傷、欠勤を余儀なくされています。

防げたはずの事故によって失われるGDPは、世界で年間4%近くにのぼると言われています。

- 建設業界での事故発生率は、他業界より高い。
- 若年および高齢の労働者はとくに事故に遭いやすい。



予防はコストではありません。  
利益を生む投資なのです。

国際社会保障協会 (ISSA)、ドイツ法定災害保険 (DGUV)、エネルギー・繊維・電気・メディア製品セクターのドイツ同業者労災保険組合 (BG ETEM) による調査プロジェクトが明らかにしたところによると、企業が労働安全衛生に資金を投入することは「実りのある」投資です。その予防投資回収率 (ROP=Return on Prevention) は2.2にもなります。





## ウェルビーイング：持続可能な将来のために

- 世界保健機関 (WHO) 憲章 -

「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた (ウェルビーイング) 状態にあること」

(世界保健機関 (WHO))



労働者のウェルビーイングは、組織の長期的な有効性を決定する重要な要素であり、労働者の健康・ウェルビーイングと生産性との間に直接的な関連性があることは、多くの研究により明らかになっています。(国際労働機関 (ILO))



職場のウェルビーイングは、生産性に貢献するだけでなく、受け身になりがちな生産性を創造的で積極的なものへと変容させる風土づくりに役立ちます。労働者とマネジメント層が協力し合い、働く全ての人の安全、健康、ウェルビーイングを守りかつ促進するための積極的な措置を講じることで、職場と事業運営の持続可能性向上に貢献するのです。

(国際社会保障協会 (ISSA))



# SAFETY

# HEALTH

# WELL-BEING



Designing Future Society  
for Our Lives

## いのち輝く未来社会のデザイン

2025年大阪・関西万博は、今そしてこれからの安全・健康・ウェルビーイングにSDGsの観点から取り組むプラットフォームとなります。また、IoT、AI、ロボティクスなど日本の国家戦略である「Society 5.0」を実現するテクノロジーによって、どのように地球規模の課題解決に貢献するかを語り合う機会です。地球市民の安全、健康、ウェルビーイングについて語り合い、共に考え、いのち輝く未来社会と一緒にデザインしてまいります。



# World Leaders Unite: Recognizing the Global Significance of Safety, Health, and Well-being

安全・健康・ウェルビーイングのためのグローバルイニシアチブ @ EXPO2025 & BEYOND (GISHW) は、2030年までに「すべての人のためのビジョンゼロ (Vision Zero for All)」を地球市民のために実現することを目指しています。このページでは、世界の労働安全衛生に関わるトップリーダーのメッセージをご紹介します。EXPO2025のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」との親和性を感じていただけるでしょう。GISHWは、世界中の人々の安全、健康、ウェルビーイングを持続可能な方法で向上させることを目的に、国際的な協力を通じて Vision Zero の普及をおこないます。




**Tedros Adhanom Ghebreyesus**  
WORLD HEALTH ORGANIZATION (WHO)  
DIRECTOR GENERAL

身体的、精神的、社会的に到達可能な最高水準のウェルビーイングの享受は、すべての人の基本的権利のひとつです。(ビジョン・ゼロ・サミット 2022)




**Vanessa Harwood-Whitcher**  
INSTITUTION OF OCCUPATIONAL SAFETY AND HEALTH (IOSH)  
CHIEF EXECUTIVE

Activate 2028 では、従業員の安心安全が確保される包括的な労働環境を実現するために果たす OSH (労働安全衛生) の役割を前面に押し出しています。




**Masao Mukaidono**  
INSTITUTE OF GLOBAL SAFETY PROMOTION (IGSAP)  
CHAIRMAN

労働安全衛生におけるウェルビーイングの位置づけは、まず、安全が基本にあつて、更に健康が確保されていて、その上でのウェルビーイングという関係にあることである。安全、健康、ウェルビーイング、セーフティダイジェスト、Vol.68, No.11, pp.2~8.(公社)日本保安用品協会、2022-11




**Gilbert F. Hounqbo**  
INTERNATIONAL LABOUR ORGANIZATION (ILO)  
DIRECTOR GENERAL

これらの課題に対応するためには、幅広い人への投資が必要であり、これは職業能力開発のみならず、質の高い雇用を促進するための包括的な労働市場の整備や、グローバルサプライチェーンを含め、誰も取り残さない形で働きがいのある人間らしい仕事を実現することを含んでいる。こうした投資は、労働者の幸福及び健康 (ウェル・ビーイング) と社会経済の活力の好循環の実現に貢献し、これが経済成長や生産性向上に伴う賃金の上昇につながり、更なる人への投資に貢献する。我々は、労働者がこれらの変化に対応することを支援するリスキングは、経費とみなすべきではなく、人への投資であると考え。(2023年4月23日 G7 倉敷労働雇用大臣宣言)




**Mohammed Azman**  
THE INTERNATIONAL SOCIAL SECURITY ASSOCIATION (ISSA)  
PRESIDENT

安全と健康は全ての労働者にとっての権利です。よつて、ビジョン・ゼロ戦略の中心となるのは人です。ビジョン・ゼロは、予防にかかわる全ての人の共同責任を促進し、安全、健康、ウェルビーイングの向上を図ります。(Well-being Tech フォーラム, May 11, 2023)




**Hans-Horst Konkolewsky**  
INTERNATIONAL ORP FOUNDATION (FIORP),  
PRESIDENT

世界では、労働災害防止対策の捉え方が大きく変わってきました。これまでは、政府が企業に課す義務とみなされていましたが、最近では、経営者が優れたリーダーシップを発揮するための重要経営テーマ、そして企業の持続可能性目標に大きく貢献する KPI (重要業績評価指標) として捉えられています。(実践!ウェルビーイング世界最強メソッド「ビジョン・ゼロ」93頁)




**Stefan Olsson**  
EUROPEAN COMMISSION (EC)  
WORKING CONDITION AND SOCIAL DIALOGUE  
DIRECTOR

事故や業務上の疾病に関する統計情報や知識は、ゼロビジョン・アプローチや労働安全衛生に関する EU の政策全般にとって極めて重要です。(ビジョン・ゼロ・サミット 2022)




**Sven Timm**  
CENTRAL PREVENTION DIVISION,  
GERMAN SOCIAL ACCIDENT INSURANCE (DGUV)  
DIRECTOR

ドイツ法定労災保険組合は、「あらゆる適切な手段を用いて」労働災害、職業性疾病などの業務上の健康被害を防止することを目的としています。(Well-being Tech フォーラム, May 11, 2023)




**Audrey Tang**  
PUBLIC DIGITAL INNOVATION SPACE  
DIGITAL MINISTER OF TAIWAN

私たち、コロナ感染症発生源の武漢と地理的に近い台湾が、コロナによる死者を出さないためにとつた対策は、まさにビジョン・ゼロの精神に非常に近いものです。(ビジョン・ゼロ・サミット 2022)




**Siong Hin Ho**  
INTERNATIONAL ASSOCIATION OF LABOUR INSPECTION (IALI)  
PRESIDENT

国際労働監督協会 (IALI) は、ビジョン・ゼロのコンセプトやアプローチを労働監督に取り入れることにより、ステークホルダーがより持続可能で、より良い安全衛生を達成するための変革の推進役となることができると確信しています。(Well-being Tech フォーラム, May 11, 2023)




**Tommi Alanko**  
FINNISH INSTITUTE OF OCCUPATIONAL HEALTH (FIOH)  
DIRECTOR OF OCCUPATIONAL SAFETY UNIT

世界のディーセント・ワークとより良い安全実現のため、ビジョン・ゼロは、共通する要素として、また様々な共同アクションにおける協調の基盤として存在してきました。私は、ビジョン・ゼロとともに、すべての人が協力することで、安全、健康、ウェルビーイングをさらなる高みに引き上げる大きな機会が得られると確信しています。(ビジョン・ゼロ・サミット 2022)




**Bonnie Yau**  
OCCUPATIONAL SAFETY AND HEALTH COUNCIL (OSHC)  
EXECUTIVE DIRECTOR

ウェルビーイングを含む職場の安全と健康を促進し、強固な安全文化を醸成しましょう。(Well-being Tech フォーラム, May 11, 2023)





**Kazuhiko Ishimura**

NATIONAL INSTITUTE OF  
ADVANCED INDUSTRIAL  
SCIENCE AND TECHNOLOGY  
(AIIST)  
PRESIDENT, CEO



「社会課題の解決」は産総研のミッションの一つです。Society 5.0の実現とともに、新しい社会における安全、健康、ウェルビーイングを達成することは社会課題の解決に直結するものです。  
(ビジョン・ゼロ・サミット 2022)



**Stuart Hughes**

MERCEDES-AMG  
PETRONAS FORMULA  
ONE TEAM  
HEAD OF HEALTH & SAFETY



「見て、声をあげて、直そう (See it, Say it, Fix it)」これは、恐れずに発言しても大丈夫である風土をつくる考え方であり、労働安全衛生上、非常に重要です。  
(ビジョン・ゼロ・サミット 2022)



**Kazuyuki Inoue**

SHIMIZU CORPORATION  
PRESIDENT AND  
DIRECTOR



「i-Construction」によって、安全性と生産性の向上を両立するために、「Shimz デジタルゼネコン」を掲げ、デジタル化やロボット施工に加え、協調安全の概念を活用しています。  
(ビジョン・ゼロ・サミット 2022)

安全の確保は、健康とウェルビーイング実現のための前提条件であり、多くの著名な機関や企業がその重要性を認識しています。

「安全」は、EXPO2025のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」、特にサブテーマの一つである「いのちを救う」と密接に関連するものです。

## いのち輝く未来社会のデザイン

Designing Future Society for Our Lives



### サブテーマ

Saving Lives  
(いのちを救う)

Empowering Lives  
(いのちに力を与える)

Connecting Lives  
(いのちをつなぐ)



**Sittichoke Huckuntod**  
NIKE  
HSE DIRECTOR



ナイキでは、安全で健康的な職場が、柔軟性と回復力に富み、より成功したビジネスに不可欠であると確信しています。(ビジョン・ゼロ・サミット 2022)



**Andresa Hernandes**  
SIEMENS AG  
OCCUPATIONAL SAFETY  
VICE PRESIDENT



私たちは驚異的な速度で変化を推進していますが、従業員をエンパワーし、新しいテクノロジーを活用することで、これからも健康、安全、ウェルビーイングを向上させることができると考えています。  
(Well-being Tech フォーラム, May 11, 2023)



**Manfred Schoch**  
BMW  
CHAIRMAN OF  
BMW GROUP WORKS  
COUNCIL



健康と安全への取り組みは、ソーシャルサステナビリティの一部として、企業戦略に盛り込まれています。  
(ビジョン・ゼロ・サミット 2022)



**Seong-Kyu Kang**  
INTERNATIONAL  
COMMISSION ON  
OCCUPATIONAL HEALTH  
(ICOH), PRESIDENT



労働者の安全と健康を確保し、怪我や不必要なリスクを回避しつつビジネスを円滑に継続する最善の方法は、徹底的に安全性向上に取り組むことです。労働力への投資と企業の未来への投資は同義であり、国家の社会構造に投資することにもなります。(Creating a Safe and Healthy Workplace A Guide to Occupational Health and Safety for Entrepreneurs, Owners and Managers, ICOH)



**Antoine Vanlaeys**  
L'ORÉAL S.A.  
CHIEF OPERATIONS  
OFFICER & MEMBER OF THE  
EXECUTIVE  
COMMITTEE



私たちの安全、健康、ウェルビーイングの取り組みが「SAFE@WORK SAFE@HOME」として、ロレアルの門を超えて、広く安全文化を広めるために創設されたことを大変誇りに思います。  
(ビジョン・ゼロ・サミット 2022)





OSAKA, KANSAI, JAPAN

EXPO  
2025



**[開催期間]**

2025年4月13日(日) - 10月13日(月)184日間

**[開催場所]**

大阪 夢洲(ゆめしま)



# Theme

# いのち輝く未来社会のデザイン

Designing Future Society for Our Lives

## Subthemes

**Saving Lives**  
(いのちを救う)

**Empowering Lives**  
(いのちに力を与える)

**Connecting Lives**  
(いのちをつなぐ)

## Concept

### - People's Living Lab -

未来社会の実験場

- 1 展示をみるだけでなく、世界 80 億人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」(co-create)。
- 2 万博開催前から、世界中の課題やソリューションを共有できるオンラインプラットフォームを立ち上げ。
- 3 人類共通の課題解決に向け、先端技術など世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信する場に。

Join 2025  
2 Years to Go!



Sowing the seeds of Vision Zero



**Global friends who have sowed the Vision Zero seeds**  
(Logos of organizers, supporters, sponsors and speakers of the Vision Zero Summit 2022 Japan)

## Plant a seed of Vision Zero

ビジョン・ゼロの  
種を植える



2014年ドイツ。一粒の**ビジョン・ゼロ**のタネが「蒔かれた」その場は第20回世界労働安全衛生会議でした。以後**ビジョン・ゼロ**は、世界各地の機関・団体・企業が日々の活動に取り入れており、優れた活用方法は共有され、互いに学びあい、協同を通じて次の高みへと成長を続けています。**ビジョン・ゼロ**の歴史を語るうえで欠かせないのは、**第2回ビジョン・ゼロ・サミット・ジャパン2022**で「すべての人のための**ビジョンゼロ東京宣言**」(**東京宣言**)が発出されたこと。この宣言で言及されたミッションを実現するため、**The Global Initiative for Safety, Health, and Well-being@EXPO2025 and BEYOND (GISHW)**の設立が**2023年 ORP コングレス**(スペイン、ビルバオ)で決定されました。GISHWの計画には、SDGs 達成年である2030年が含まれています。**EXPO2025**が2025年に大阪で開催されますが、そのメインテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。すべての人の安全・健康・ウェルビーイング向上を目指す**ビジョン・ゼロ**と、「いのち」にフォーカスする**EXPO2025**は、その基本理念において軌を一にしています。安全・健康・ウェルビーイングの木々が世界中に広がって生き茂るように、私たちは活動してまいります。





# Vision Zero for All

Safety · Health · Well-being



2030

Flourish  
生き茂る

そしてその先へ

*and Beyond*



2023



2024



2025



Leaders' Voices

EXPO2025

Vision Zero Journey

VZSJ2022

Kick-off @Bilbao

1st Gen. Meeting

EXPO2025 Association



# VISION ZERO SUMMIT 2022

11 to 13 May 2022

ニューノーマルにおける  
安全・健康そしてウェルビーイング



## OPENING STATEMENT AND KEYNOTES



**MASAO MUKAIDONO**  
INSTITUTE OF GLOBAL  
SAFETY PROMOTION  
(IGSAP) CHAIRMAN  
VZSJ JAPAN ORGANIZING  
COMMITTEE CHAIRMAN



**SHIGEYUKI GOTO**  
MINISTRY OF HEALTH,  
LABOUR AND WELFARE,  
JAPAN, MINISTER



**TEDROS ADHANOM  
GHEBREYESUS**  
WORLD HEALTH  
ORGANIZATION (WHO)  
DIRECTOR GENERAL



**JOACHIM BREUER**  
INTERNATIONAL SOCIAL  
SECURITY ASSOCIATION  
(ISSA)  
PRESIDENT (2016-2022)



**STEFAN OLSSON**  
EUROPEAN COMMISSION (EC)  
WORKING CONDITION AND  
SOCIAL DIALOGUE  
DIRECTOR



The affiliations and positions are as of the time of Vision Zero Summit Japan 2022 (May 11-13, 2022)



**VANESSA  
HARWOOD-WHITCHER**  
INSTITUTION OF  
OCCUPATIONAL SAFETY  
AND HEALTH (IOSH)  
CHIEF EXECUTIVE



**KAZUHIKO ISHIMURA**  
NATIONAL INSTITUTE OF  
ADVANCED INDUSTRIAL  
SCIENCE AND TECHNOLOGY  
(AIST)  
PRESIDENT, CEO



**MANFRED SCHOCH**  
BMW  
CHAIRMAN OF  
BMW GROUP WORKS  
COUNCIL



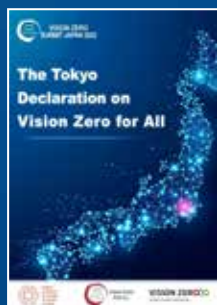
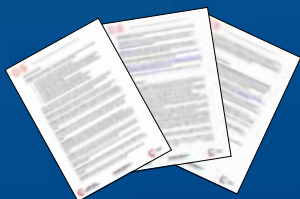
**KAZUYUKI INOUE**  
SHIMIZU CORPORATION  
PRESIDENT AND DIRECTOR



**TOMMI ALANKO**  
FINNISH INSTITUTE OF  
OCCUPATIONAL HEALTH  
(FIOH)  
DIRECTOR OF OCCUPATIONAL  
SAFETY UNIT



### すべての人のための東京宣言



ここに、ビジョンゼロとは以下であることを宣言する。

1. 予防のための戦略であり、また包括的な考え方であって、グローバルな予防文化の促進・確立を望む共通の願望に基づき、労働災害と疾病を削減し、職場の安全・健康・ウェルビーイングを促進することを目的とするものである。
4. 2030 持続可能な開発目標、特に SDG8（働きがいも経済成長も）、SDG3（すべての人に健康と福祉を）、SDG4（質の高い教育をみんなに）、SDG17（パートナーシップで目標を達成しよう）に資するものである。



### EXPO2025 OSAKA, KANSAI, JAPAN PRESENTATION

## Designing Future Society for Our Lives

World Expo 2025 will be held  
in Osaka, Kansai, Japan!



# セッションチェア

Prominent Occupational Safety, Health and Well-being experts

## SESSION C



**HANS-HORST KONKOLEWSKY**  
International ORP Foundation (FIORP), President



企業におけるビジョン・ゼロの実践  
=ビジョンからリアリティへ=

## SESSION B



**OCKERT DUPPER**  
International Labour Organization (ILO)  
VZF Global Programme Manager



グローバルなサプライチェーンをより安全に

## SESSION H



**TAMIO TANIKAWA**  
National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)  
Deputy Director, Research Center Team Leader



モビリティ・自動車・無人搬送車 (AGV)

## SESSION K



**TAKASHI KAWATA**  
SHIMIZU CORPORATION  
Advisor



建設業における労働安全衛生 (OSH) と生産性の向上

## SESSION M



**RENE LEBLANC**  
International Occupational Hygiene Association (IOHA)  
IOHA Past-President 2019-2020



感染症対策の経験から学んだ健康・衛生の在り方

## SESSION D



**ALAN STEVENS**  
Institution of Occupational Safety and Health (IOSH)  
Head of Strategic Engagement



未来のビジネスリーダー  
=より健全なパフォーマンスと生産性=

## SESSION A



**BERND TREICHEL**  
International Social Security Association (ISSA)  
Senior Technical Specialist in Prevention and Social Security



前向き先行指標 (Proactive Leading Indicator: PLI) の活用がビジョンゼロを推進

## SESSION Q



**RIEKO HOJO**  
National Institute of Occupational Safety and Health, Japan (JNIOSH)  
Senior Researcher, Associate Professor



ヒューマンファクターを考えるー  
安全で安心なウェルビーイング社会の実現に向けて

## SESSION F



**YOSHIHIRO NAKABO**  
National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST), Senior Researcher



ロボット工学と協調安全

## SESSION J



**SHOKEN SHIMIZU**  
National Institute of Occupational Safety and Health, Japan (JNIOSH)  
Supervising Resercher



製造業における現場での安全・健康・ウェルビーイングの向上

## SESSION N



**SADAO TAKEDA**  
Institute of Global Safety Promotion (IGSAP), Director



ウェルビーイングと SDGs

## SESSION E



**TOMMI ALANKO**  
Finnish Institute of Occupational Health (FIOH), Director of Occupational Safety Unit



より高度な教育、オンライン学習、資格認定を通じた労働安全衛生 (OSH) 能力の向上

## SESSION I



**TOSHIYUKI KAJIYA**  
International Electrotechnical Commission (IEC)  
Vice-chair of IECEE Certification Management Committee of IEC



安全、健康、ウェルビーイングのための国際標準化

## SESSION G



**YOSHIKI SEO**  
National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)  
Director, Information Standardization Office



AI・ICT とデジタル化

## SESSION L



**MAGDALENA WACHNICKA-WITZKE**  
Agricultural Social Insurance Fund (KRUS), Director of the Communication and International Cooperation Office



アグリカルチャー (農業) における労働安全衛生 (OSH) 文化の構築

## SESSION R



**MOHAMMED AZMAN AZIZ MOHAMMED**  
Social Security Organisation of Malaysia (SOCSO)  
CEO / Director General



国家戦略としてのビジョンゼロの推進



Leaders' Voices

EXPO2025

Vision Zero Journey

VZSJ2022

Kick-off @Bilbao

1st Gen. Meeting

EXPO2025 Association





ORP コングレス 2023 開催の地、スペインのビルバオで「安全・健康・ウェルビーイングのためのグローバルイニシアチブ @ EXPO2025 & BEYOND (GISHW)」発足会議が行われ、国際的な機関・団体・企業を代表して集まった参加者全員の賛同を得て、GISHW の発足が正式に決定されました。



Name	Affiliation
Tommi Alanko	The Finnish Institute of Occupational Health (FIOH)
Mohammed Azman	International Social Security Association (ISSA)
Ana Ercoreca de la Cruz	International Association of Labour Inspection (IALI)
Bernie Doyle	Asia Pacific Occupational Safety and Health Organization (APOSHO)
Ockert Dupper	Vision Zero Fund, International Labour Organization(ILO)
Dietmar Elsler	European Agency for Safety and Health at Work (EU-OSHA)
Mireya Rifá Fabregat	The European Network of Safety and Health Professional Organisations (ENSHPO)
Christian Felten	Federal Association for Occupational Safety and Health (BASi)
Toshihiro Fujita	Institute of Global Safety Promotion (IGSAP)
Aleksandra Hadzik	The Agricultural Social Insurance Fund (KRUS)
Siong Hin Ho	International Association of Labour Inspection (IALI)
Lars Hoffmann	SIEMENS
Mariana Infante	International Labour Organization (ILO)
Ivan Ivanov	World Health Organization (WHO)
Hans-Horst Konkolewsky	The International ORP Foundation (FIORP)
Seong-Kyu Kang	International Commission on Occupational Health (ICOH)
Pablo Rodríguez Nieto	The International ORP Foundation (FIORP)
Manfred Schoch	BMW
Alan Stevens	The Institution of Occupational Safety and Health (IOSH)
Yoshikazu Tanaka	Osaka Convention & Tourism Bureau
Lars Tornvig	Human House
Bernd Treichel	International Social Security Association (ISSA)
Nana Wanjau	Commonwealth Business Women Africa
Magdalena Wachnicka-Witzke	The Agricultural Social Insurance Fund (KRUS)
Vanessa Harwood-Whitcher	The Institution of Occupational Safety and Health (IOSH)
Lars Wismer	Messe Düsseldorf GmbH
Bonnie Yau	The Occupational Safety and Health Council (OSHC)
Winson Yeung	The Occupational Safety and Health Council (OSHC)





Leaders' Voices

EXPO2025



ORP コングレス 2023 では、世界中から 1200 名を超える労働安全衛生の専門家が一堂に会しました。セーフティグローバル推進機構 (IGSAP) 理事の **藤田 俊弘氏** は、大阪・関西万博の機会を活用した地球市民の安全、健康、ウェルビーイング訴求について講演しました。

**田中 嘉一氏** (大阪観光局 MICE 政策統括官 兼 万博・IR 推進統官) からは、大阪の魅力が伝えられると共に、大阪・関西万博に向けて来日が呼びかけられ、参加者の期待・関心が高まりました。

Vision Zero Journey



VZSJ2022

Kick-off @Bilbao



1st Gen. Meeting

EXPO2025 Association







Leaders' Voices

EXPO2025

Vision Zero Journey

VZSJ2022

Kick-off @Bilbao

1st Gen. Meeting

EXPO2025 Association

スペイン ビルバオでのキックオフ会議を受け、第1回 GISHW 会議が大阪で開催。世界各国から来日した GISHW 中核メンバーである国際機関・団体・企業の代表者とともに、大阪・関西万博に向けた具体的計画について活発な議論が交わされ、3つのワーキンググループの発足が決定。以後オンライン会議などで議論を重ね、第23回世界労働安全衛生会議(2023年11月27-30日@シドニー、オーストラリア)会期中に実施が予定されている第2回 GISHW 会議にて詳細を決定することで意見が一致しました。



*The Global Initiative for Safety, Health, and Well-being*  
 @EXPO2025 and BEYOND 組織図

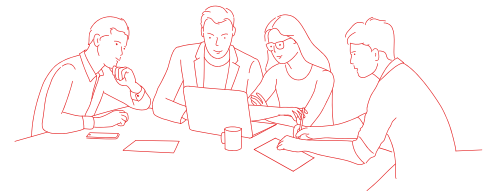
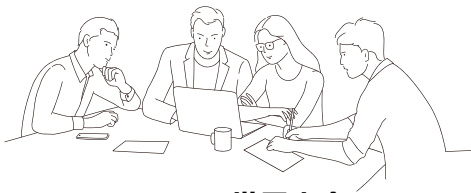
実行委員会

組織委員会

ワーキンググループ (WG) 1

ワーキンググループ (WG) 2

ワーキンググループ (WG) 3



**World Assembly 世界大会**  
 (2024/2025)

世界有数のリーディング企業、国際機関、団体で安全・健康・ウェルビーイング、H R（人的資源）を推進する専門家が各国から集う大規模な会合です。

**Symposia シンポジウム**  
 (2023/2024/2025)

世界有数のリーディング企業で安全・健康・ウェルビーイングを推進する専門家や、労働安全衛生の政策立案者、研究者などが最新の安全・健康・ウェルビーイングについての知見やアイデア、視点を情報交換する場を提供します。

**Exhibitions 展示会**  
 (2023/2024/2025)

職場や生活など様々な場において、リスクを回避し、安全・健康・ウェルビーイングを促進するための革新的な技術やソリューションをテーマ別に紹介。世界有数のリーディング企業や国際機関が出展します。





Leaders' Voices



EXPO2025

Vision Zero Journey



VZSJ2022

Kick-off @Bilbao

1st Gen. Meeting

EXPO2025 Association

公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会代表者の皆さまからは、万博開催の意義やテーマ、コンセプトについて説明を頂戴しました。世界各国から来日した GISHW のコアメンバーである国際機関・団体・企業の代表者からは、GISHW の目指す方向性や目標が語られ、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」とビジョン・ゼロとの親和性を一同が深く理解。「ビジョンゼロジャーニー」を描いたブルゾンを全員が着用し、万博開催の 2025 年、そしてその先も Vision Zero for ALL 実現のために一致団結する決意を新たにしました。





**The Institute of Global Safety Promotion**  
**向殿 政男**  
(一社)セーフティグローバル推進機構



**iosh** **PETRONAS**  
**Stuart Hughes**  
英国労働安全衛生協会 (IOSH)  
メルセデス AMG ペトロナス F1 チーム



**EXPO 2025**  
**畠山 一成**  
公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会



**JISHA 中災防**  
**竹越 徹**  
中央労働災害防止協会

(敬称略)





Cocktail Party

Exhibitions



Int'l Well-being Tech Forum

Site Tours



Discover Japan

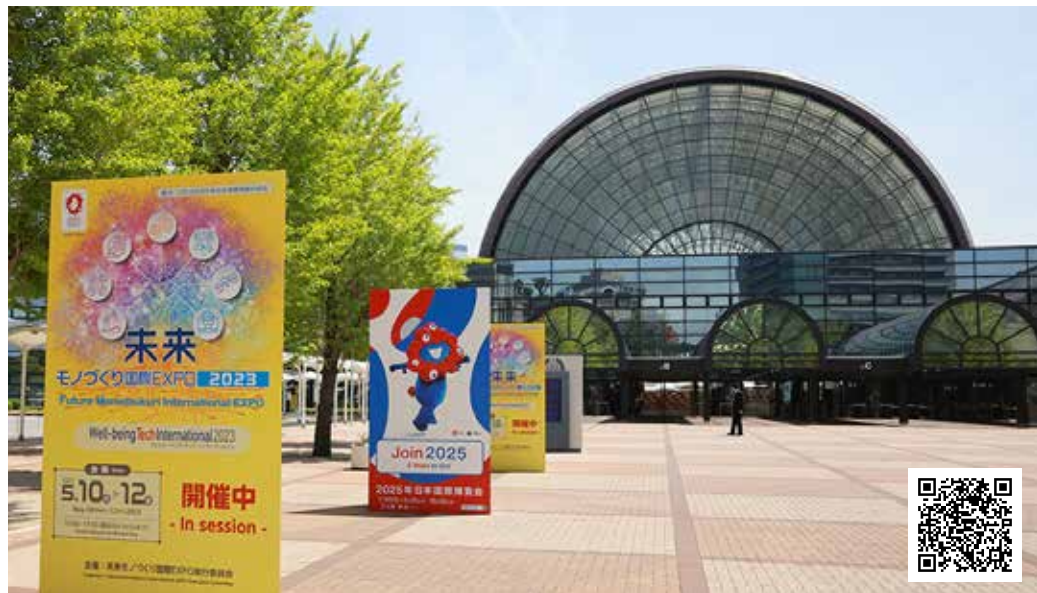


Publications



WCSH @Sydney





**Future Monodzukuri International EXPO 2023**

OSAKA, KANSAI, JAPAN EXPO2025



**井水 治博**  
(株)日刊工業新聞社 社長



**安田 篤**  
経済産業省 製造産業局 産業機械課長  
ロボット政策室長

日刊工業新聞社  
The Nikkan Kogyo Shimbun

(敬称略)



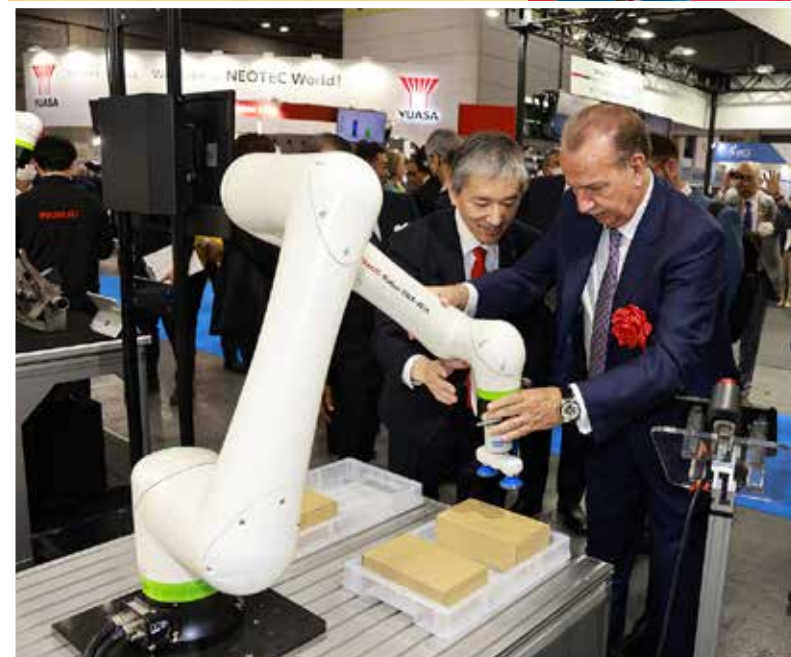
2023年5月10日から12日まで、大阪インテックスにて「未来モノづくり国際EXPO」が開催。多くの企業が最新テクノロジーを展示紹介するイベントに多くの来場者が訪れ、二年後のEXPO2025への期待が一層高まりました。

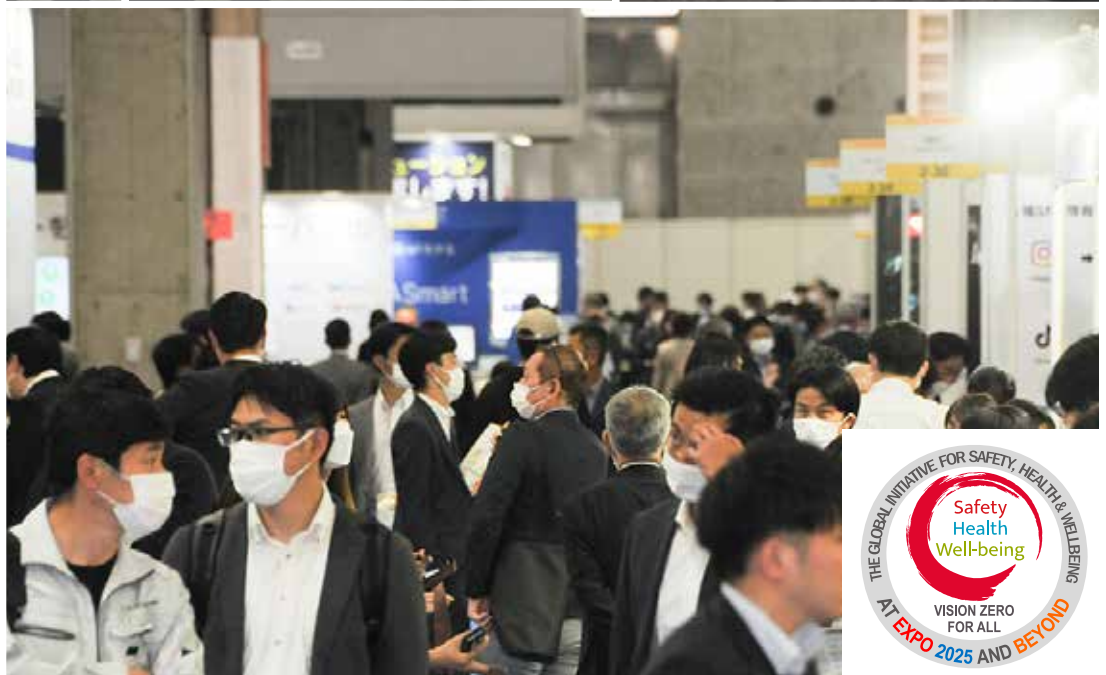
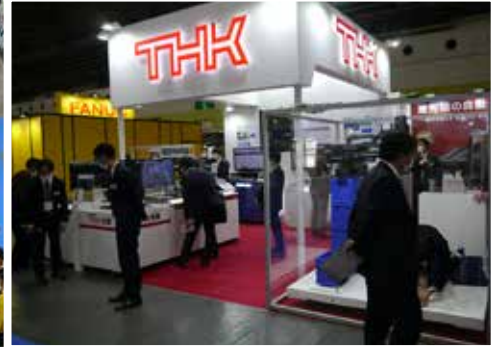


**堺 啓公**  
2025年日本国際博覧会協会 担当局長  
(中小企業・地域連携)



**ORP** INTERNATIONAL FOUNDATION  
**Hans-Horst Konkolewsky**  
国際労働災害予防基金 (ORP) 理事長





Cocktail Party

Exhibitions

Int'l Well-being Tech Forum

Site Tours

Discover Japan

Publications

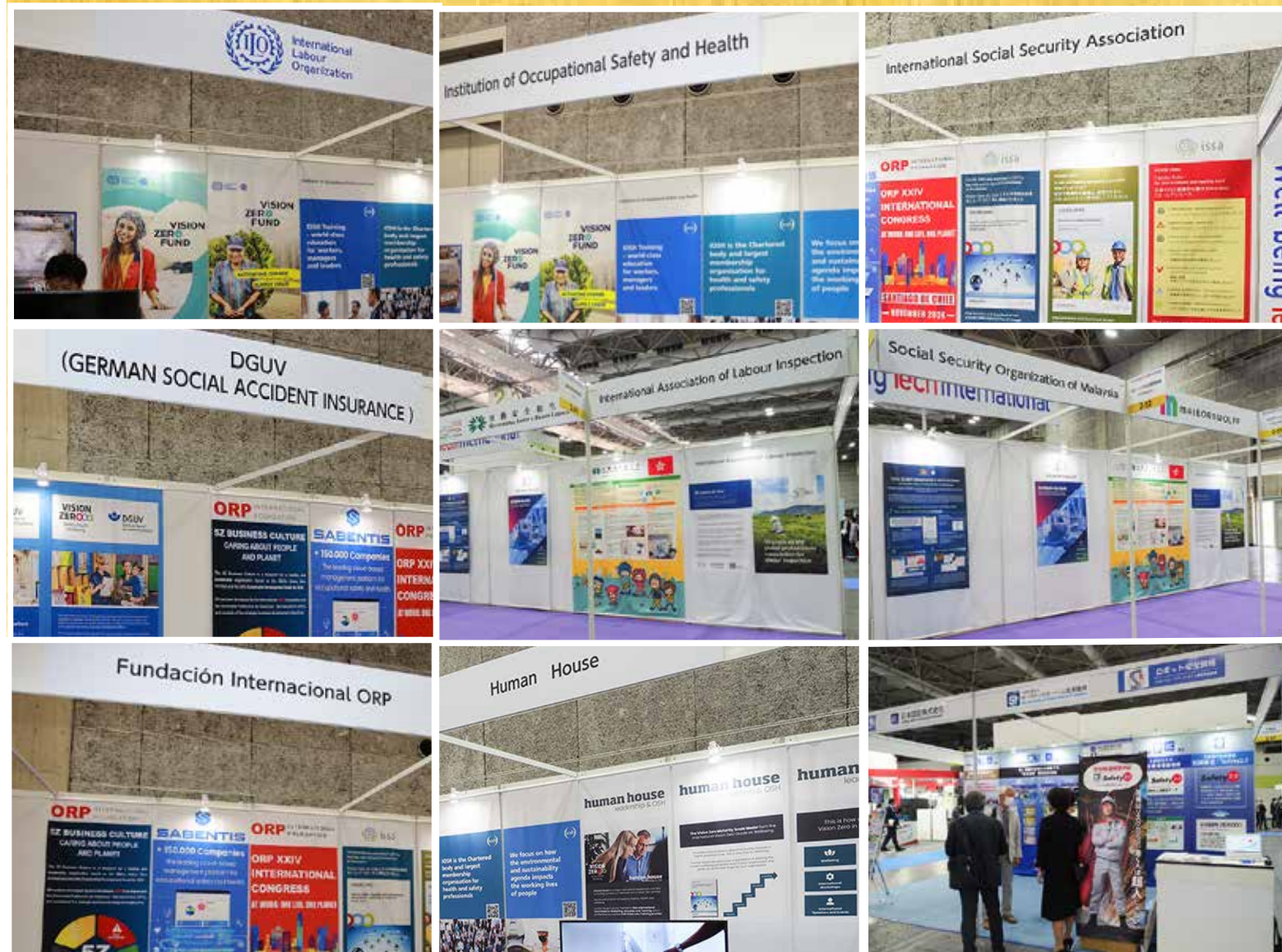
WCSH @Sydney



# Well-being Tech International 2023



未来モノづくり国際 EXPO 2023 のフェアインフェアイベントとして、Well-being Tech International 2023 が開催。「安全に・健やかに、便利に、豊かに、レジリエント」なウェルビーイング社会実現のため、産業・ライフシーン・街づくり・インフラ交通・環境・防災などあらゆるシーンでの先端『ウェルビーイングテクノロジー』や、安全健康ウェルビーイングを推進する国際・国内機関が世界から集結しました。



Cocktail Party

Exhibitions

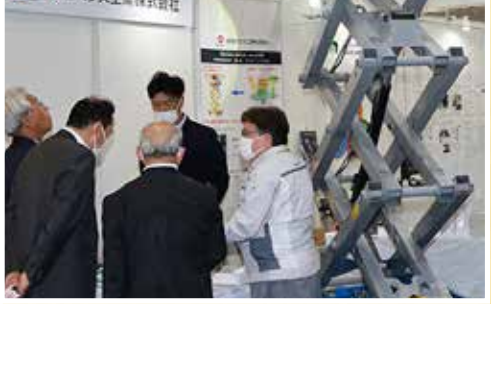
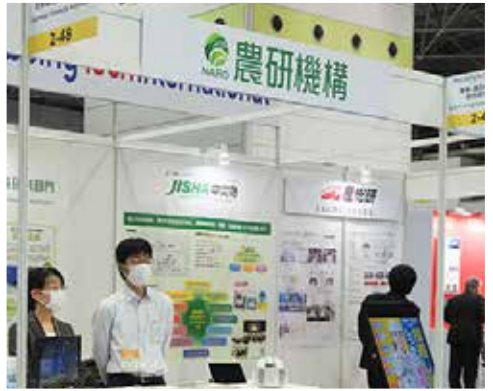
Int'l Well-being Tech Forum

Site Tours

Discover Japan

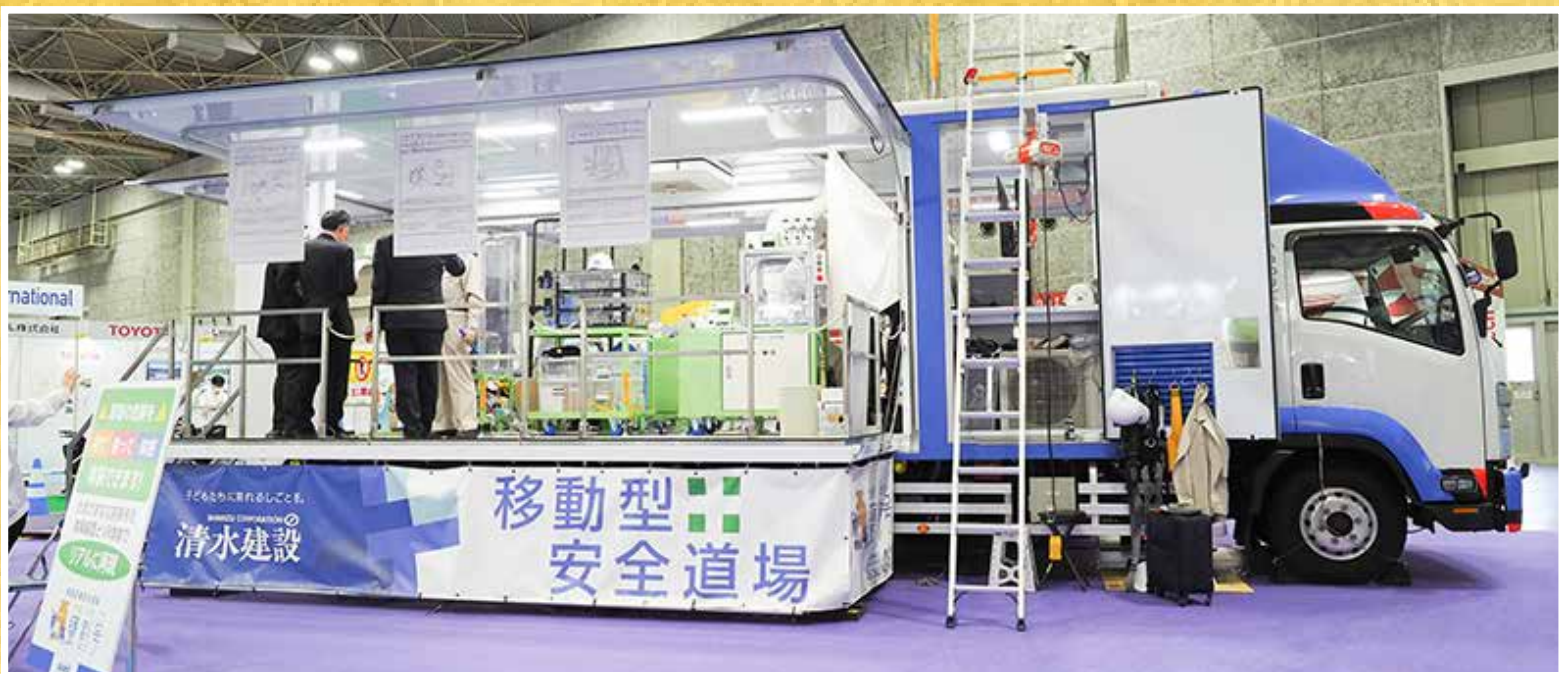
Publications

WCSH @Sydney





セーフティグローバル推進機構 (IGSAP) 建設委員会 会員企業





(一社) ファインバブル産業会 会員企業

Cocktail Party

Exhibitions

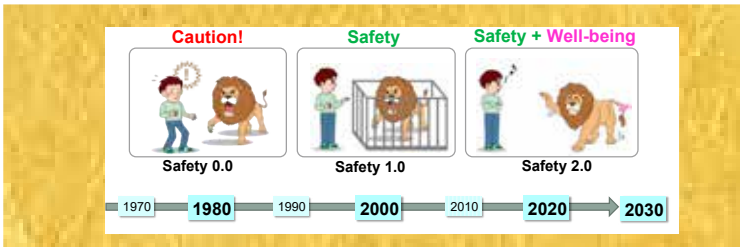
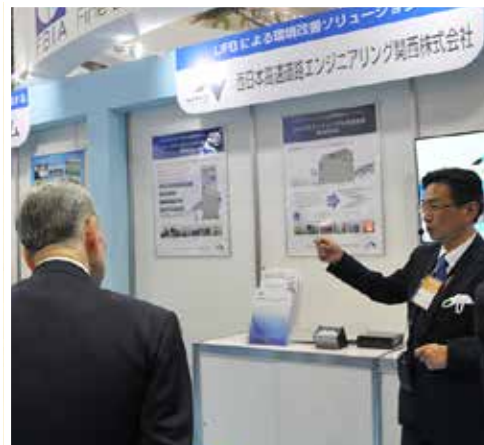
Int'l Well-being Tech Forum

Site Tours

Discover Japan

Publications

WCSH @Sydney



# 基調講演

安全・健康・ウェルビーイングを推進する世界的潮流 Vision Zero とそれを支えるウェルビーイングテクノロジーとは？



藤田俊弘  
セーフティグローバル推進機構 理事

**SAFETY**  
The Institute of  
Global Safety Promotion



Vision Zero approach to Safety, Health, and Well-being aligns harmoniously with the grand theme of EXPO 2025 "Designing Future Society for Our Lives"

Designing Future Society for Our Lives

World Health Organization  
International Labour Organization  
ISSA  
VISION ZERO FOR ALL

VISION ZERO FUND

VISION ZERO 000

People's Living Lab (未来社会の実験場)



1970 1980 1990 2000 2010 2020 2030



**AMG**  
**PETRONAS**  
FORMULA ONE TEAM



Stuart Hughes  
メルセデス AMG ペトロナス F1 チーム  
安全健康ディレクター

健康・安全かつハイパフォーマンスを可能にする  
環境構築を目的としたビジョン・ゼロの活用



# ラウンドテーブル A

## 第一部

### 働く環境でのウェルビーイングー我々の課題と戦略的対応 【世界をリードする機関からのVision Zero 実践報告と討議】



**Ivan Ivanov**

世界保健機関（WHO） 職業・職場と健康部門  
上級専門家

すべての人のためのより健康で、安全かつ  
レジリエントな職場の構築



**司会 武田 貞生**

セーフティグローバル推進機構 理事



すべての人のためのより健康で、安全かつ  
レジリエントな職場の構築



**Hans-Horst Konkolewsky**

国際労働災害予防基金 理事長  
(スペイン)



**Stuart Hughes**

英国労働安全衛生協会  
(IOSH) 次期会長



5Z ビジネスカルチャー  
人と地球を大切にするために

職場における安全・健康・ウェルビーイングの向上



**Mohammed Azman bin Aziz  
Mohammed**

国際社会保障協会（ISSA）会長



職場におけるビジョン・ゼロガイド

Cocktail Party

Exhibitions

Int'l Well-being  
Tech Forum

Site Tours

Discover Japan

Publications

WCSH @Sydney



ラウンドテーブル B



氏田 由可

ILO 国際労働機関 上級労働安全衛生専門家、  
 ディセント・ワーク・テクニカルサポートチーム/  
 カントリーオフィス・バンコク

誰一人取り残さない：安全で健康な労働環境を  
 基本的原則及び権利として実現するために



司会 武田 貞生

セーフティグローバル推進機構 理事



The Institute of  
 Global Safety Promotion



Sven Timm

ドイツ法定災害保険 (DGUV)  
 中央予防部ディレクター



ドイツ法定災害保険 (DGUV) におけるビジョン・ゼロ



Bonnie Yau

香港職業安全健康局 (OSHC)  
 総局長



職業安全健康局  
 OCCUPATIONAL SAFETY & HEALTH COUNCIL



香港における職場のウェルビーイングプログラムと  
 ベストプラクティス採用の促進



Siong Hin Ho

国際労働インスペクター協会 (IALI) 会長  
 シンガポール人材省 局長



ビジョン・ゼロ推進による労働基準監督の  
 課題への取り組み



# ラウンドテーブル C

## 第二部

### 働く環境でのウェルビーイングの向上に向けた技術的／組織的ソリューション【内外グローバル企業、組織からの報告と討議】

**労働安全衛生の新しい価値観**  
**New Values for Occupational Health and Safety**  
**From Zero to Positive In addition to Negative to Zero**  
**A New Mindset for Occupational Health and Safety**

**\*これまでの労働安全衛生**  
**Former OSH**  
 ・これまでの視点を基礎として、更に前向きに、プラスの方向にマインドを変えていく  
 Building on the conventional perspectives, we need to further change our mindset in a positive, forward-looking, and positive direction.  
**ゼロからプラスへ向かう努力**  
**Efforts to go from zero to positive**  
 ・働く人には、やりがい、生きがいを  
 Give workers a sense of fulfillment, purpose in life, and feeling of being rewarded.

**\*これまでの労働安全衛生**  
**Conventional OSH**  
 ・身体的傷害がない、身体的病気、疾病がない、精神的障害がないというように、「〇・〇がない」という、主としてマイナス領域での活動であった。  
 Activities mainly focused on negative aspects only, such as no physical injury, no physical illness, and no mental disability  
**マイナス面をゼロにする動きであった**  
 Those activities targeted at eliminating the negative aspects.

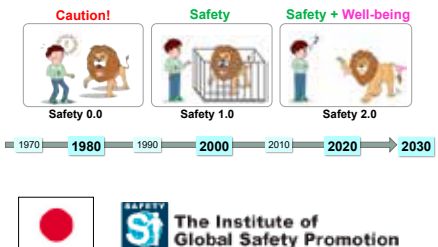
Copyright 2023 Masao Mukaigawa rights reserved

The diagram illustrates a shift from negative to positive aspects. At the bottom, a yellow box labeled '負 (ネガティブ) の領域 Negative aspects' contains '怪我をしない No injury', '病気をしない No physical illness', and 'メンタルにならない No mental illness'. Above this is a green box labeled '正 (ポジティブ) の領域 Positive aspects' containing '安心して ANSHIN (peace of mind)', '元気で active', and '意欲的に passion'. A vertical arrow points from the negative to the positive. To the left, 'ゼロ 0 (zero)' is marked. To the right, a timeline shows '1970', '1980', '1990', '2000', '2010', '2020', and '2030'. Below the timeline are logos for 'The Institute of Global Safety Promotion' and a Japanese flag.



向殿 政男  
セーフティグローバル推進機構 会長

労働安全衛生活動の新しいマインドセット  
～ネガティブ領域からポジティブ領域まで～



司会 梶屋俊幸  
セーフティグローバル推進機構 理事



釜石 英雄  
厚生労働省 労働基準局安全衛生部安全課 課長

**重点事項ごとの具体的取組 plans for the prioritized measures**  
**① 自律的に安全衛生対策に取り組むための意識啓発**  
 Proactively work on OSH through taking advantage of initiatives that visualize such efforts.

**事業者に取り組んでもらいたいこと**  
 Employers are requested to:  
 安全衛生の取組を促す仕組みを運用し、主体的に安全衛生対策に取り組む。  
 Proactively work on OSH through taking advantage of initiatives that visualize such efforts.

「健康経営優良法人認定制度」の活用  
 Utilizing the "Health and Productivity Management Outstanding Organizations" Certification Program

「産業医制度 (2022年開始)」  
 ● 産業医制度法人 (大規模法人適用) : 2,676件  
 Outstanding Health and Productivity Management Organization (Large Enterprise Category)  
 ● 産業医制度法人 (中・小規模法人適用) : 14,127件  
 Outstanding Health and Productivity Management Organization (Small and Medium Enterprise Category)  
 (19年10月1日現在)

SDGs (Sustainable Development Goals)  
**目標3 安全と健康** 安全と健康の確保を促進し、福祉 (Well-being) を向上させる。  
 3.9 2030年までに、重大な被害、死者及び生産の中断を防止し、重大な被害、死者及び生産の中断を防止し、福祉 (Well-being) を向上させる。  
 目標8 経済的成長を促進し持続可能な雇用と人々の完全かつ生産的な雇用とを確保し、人々の生活水準を向上させる。  
 8.8 持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けて、安全で健康的な労働環境を確保し、安全で健康的な労働環境を確保する。



武重 竜男  
経済産業省 産業技術環境局国際電気標準課 課長

【まとめ】標準化を通じたウェルビーイングの実現に向けて  
 [Summary] For Introduction of "Collaborative Safety"

- 「協調安全」の普及 → ウェルビーイングに貢献  
 Propagation of "Collaborative Safety" → Well-being

「協調安全」の普及のために  
 「白書(ガイドライン)」のみならず技術規格・基準・要件・適合性など多岐にわたる標準の整備が必要  
 To propagate "Collaborative Safety", we are necessary to develop technical specification, standard, requirement and conformance.

「協調安全」の国際標準化は、  
 人々のウェルビーイングに現実的に貢献します  
 International standardization of "Collaborative Safety" will contribute human well-being!

第 14 次労働災害防止計画のアウトライン

「協調安全」に向けた標準化



Andresa Hernandez  
シーメンス 副社長 (労働安全)



企業文化とイノベーションで従業員をエンパワーし、変化をもたらす



藤本 宏樹  
住友生命保険相互会社 上席執行役員



WaaS(Well-Being as a Service) エコシステムの構築～ Vitality から広がる新しい Well-Being ビジネスについて～



# ラウンドテーブルD



The Institute of Global Safety Promotion

河田 孝志

清水建設株式会社 顧問

建設業における安全・安心、Well-Being の取り組みについて



Magdalena Wachnicka-Witzke

ISSA 農業部門 事務局長/ポーランド  
農業社会保険基金 コミュニケーション・  
国際協力局長



農業ウェルビーイングのための多様なアプローチ



司会 梶屋俊幸

セーフティグローバル推進機構 理事



The Institute of Global Safety Promotion



**AIST Cooperation/collaboration and coexistence**

- Basic concepts : From "safety through isolation" to "safety through coexistence and cooperation"
  - Human-machine coexistence: Human and robot share the same space
  - Human-machine cooperation: Human and machine cooperate with each other

Manufacturing configuration between human and robot

Mode	Automation	Coexistence	Collaboration
Configuration	Physically restricted (isolated)	Closing task space	Sharing task space

Mr. Saita, Toyota  
Wolke Zora Summit Japan  
2022 presentation

Establishing both safety, security, and productivity



職業安全健康局  
OCCUPATIONAL SAFETY & HEALTH COUNCIL



Winson Yeung

香港職業安全健康局 (OSHC) 首席顧問

職場の安全・ウェルビーイング向上のための技術ソリューション  
—香港の例



Jillian Hamilton

マネージ・ダメージ社 代表取締役

グローバル規制課題に対するこれからの  
ソリューション—デジタル活用で誰もが平等に



# 向殿安全賞

向殿安全賞とは、産業安全とその進歩・普及に尽力された向殿政男 明治大学名誉教授 の業績と精神に鑑み、産業分野における安全の維持 向上と進歩・普及に貢献された個人、団体に対して、その業績、成果を 顕彰し、この表彰が、産業安全に関わる人々を激励し、以て国内外の 産業現場の安全化の促進に資することを目的とするものです。



**向殿 政男**  
セーフティグローバル  
推進機構 会長

## 団体（企業）の部 (敬称略)

### 特別功績賞



#### イギリス労働安全衛生協会 (IOSH)

\* 受賞表題「安全で健康的な Well-being 労働環境の提唱と世界的な普及への貢献」



**Vanessa Harwood-Whitcher**  
英国労働安全衛生協会 (IOSH) 会長



### 奨励賞

#### 東レエンジニアリング株式会社

\* 受賞表題「安全設備供給体制構築による安全・安心な機械設備の提供」



代表取締役社長  
岩出 卓



(代理受賞)  
英国労働安全衛生協会 (IOSH) 戦略的エンゲージメント 部門長

## 個人の部 (敬称略)

### 功労賞

#### 池田 博康

(独) 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 新技術安全研究グループ 特任研究員  
\* 受賞表題「安全技術分野に関する研究成果と労働安全への貢献」

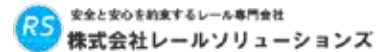


### 功績賞

#### 竹内 千里

(株式会社レールソリューションズ 代表取締役社長)

\* 受賞表題「安全は人づくりをモットーに、“安全力”を持つ人材育成によりウェルビーイングが実感できる会社づくりを実践」



### 功労賞

#### Ivan Ivanov (イワン・イワノフ)

(World Health Organization, Head of Occupational and Workplace Health)

\* 受賞表題「WHO での労働者の安全・健康・ウェルビーイングへの国際貢献」



### 功績賞

#### Stuart Hughes (スチュアート ヒューズ)

(Mercedes AMG Formula One Team, Head of Health and Safety)

\* 受賞表題「メルセデスフォーミュラワン チームにおける安全・健康・ウェルビーイング文化の構築」



### 功績賞

#### Mohammed Azman Aziz Mohammed (モハメッド アズマン アジズ モハメッド)

(Social Security Organization (SOCSCO) Malaysia Chief Executive Officer | Director General)

\* 受賞表題「社会保障機構 (SOCSCO) におけるマレーシア及び国際的な労働安全衛生の促進に対する主導的貢献」



Cocktail Party

Exhibitions

Int'l Well-being Tech Forum

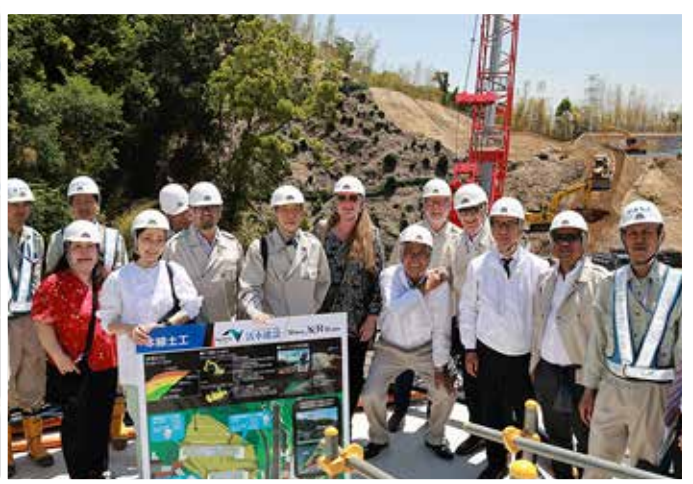
Site Tours

Discover Japan

Publications

WCSH @Sydney





Caution!

Safety

Safety + Well-being



Safety 0.0



Safety 1.0



Safety 2.0







Cocktail Party

Exhibitions

海外の視察団は清水建設（株）がすすめる新名神高速道路梶原トンネル建設現場を視察。危険な現場作業に協調安全技術を最大限活用する様子を見学し、説明会では活発な質疑応答が行われ、作業者の安全・健康・ウェルビーイングを最新技術で確保する取組みに感嘆の声があがりました。

Int'l Well-being Tech Forum



Site Tours

Discover Japan



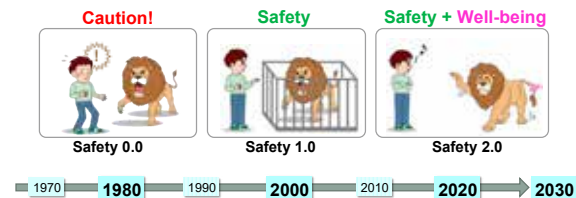
Publications

WCSh @Sydney





川崎重工（株）西神戸ショールームにて自律走行型ロボット「Nyokkey（ニヨッキー）」の出迎えを楽しんだ視察団一行。ロボット同士が協調作業する産業用ロボットや、人とロボットが共存するサービスロボットを見学。双腕スカルロボット「duAro」に似顔絵を描いてもらう体験も。





川崎重工（株）の産業用ロボットの技術と（株）シスメックスの医療分野で培われた知見を掛け合わせた（株）メディカロイドの見学では、手術支援ロボット「hinotori™ サージカルロボットシステム」の操作を体験。術者の微細な動きを実現する手術支援ロボットに、世界で活用するべきと称賛の声があがりました。



Cocktail Party

Exhibitions

Int'l Well-being Tech Forum



hinotori™  
Surgical Robot System



Site Tours

Discover Japan



Publications

WCSH @Sydney



*Discover the  
Enchanting Allure of Japan*





Cocktail Party

Exhibitions

*Indulge in Authentic Cuisine,  
Immerse in Captivating Sights,  
Embrace Rich Cultural Traditions,  
Discover Japan*



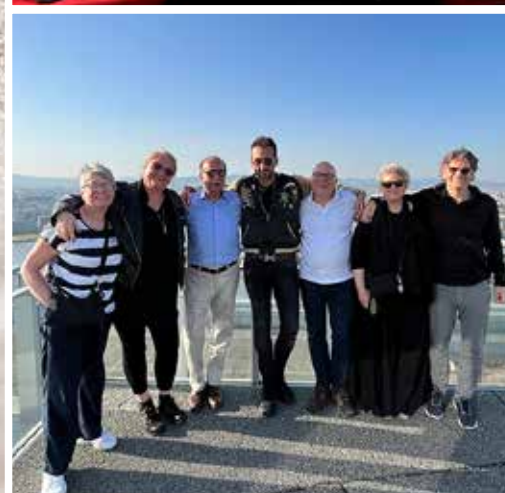
Int'l Well-being  
Tech Forum

Site Tours



Discover Japan

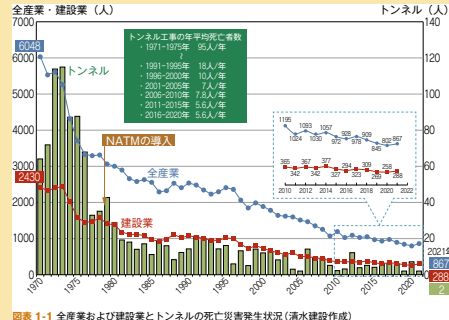
Publications



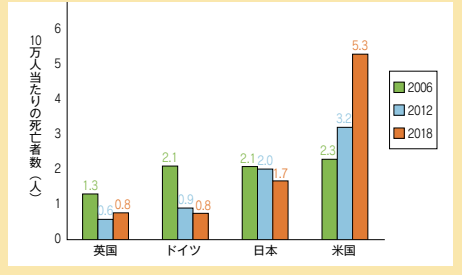
WCSH @Sydney



きつい、汚い、危険の、いわゆる3K職場と揶揄される建設現場。建設業で、なぜ、死亡者数が減らないのか。製造業の工場内で採用されているような「危険な機械を柵で囲う」といった安全対策が実施しにくい。将来の担い手が安全で安心して働ける職場をつくるために、「協調安全」を導入し成功した取り組みを解説する建築業界期待の書。



図表 1-1 全産業および建設業とトンネルの死亡災害発生状況 (清水建設作成)

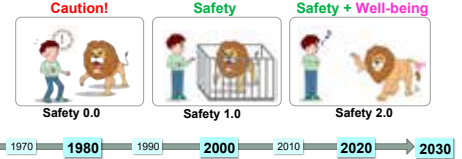


図表 1-5 「Safety 2.0 技術認証」を受けた、ずり出し時の安全方策システム (筆者作成)

日本の考え方	欧米の考え方
災害は努力すれば、二度と起こらないようにできる	災害は努力しても技術レベルに応じて必ず起こる
・災害の主要因は人である ・技術的対策よりも人の対策を優先	・災害防止は技術的問題である ・人の対策よりも技術的対策を優先
管理体制をつくり、人の教育訓練をし、規制を強化すれば安全は確保できる	人は必ず間違いを犯すものであるから、技術力の向上がなければ安全確保はできない
労働安全衛生法で、人および施設の安全化を目指し、災害が発生するたびに規制を強化	設備の安全化とともに、事故が起こっても重大災害に至らない技術的対策
安全は、基本的にただである	安全は、基本的にコストがかかる。安全は投資である
・安全にコストは認めにくい ・目に見えない「具体的危険」に対して最低限のコストで対応し、起こらないはずの災害対策に、技術的深慮りはしない	・安全にはコストをかける ・危険源を洗い出し、そのリスクを評価し、評価に応じてコストをかけ、起こるはずの災害の低減化努力をし、さまざまな技術・道具が生まれた
・見つけた危険をなくす技術 (危険検出型技術)	・理論的に安全を立証する技術 (安全確認型技術)
度数率 (発生件数) の重視	強度率 (重大災害) の重視

図表 1-2 日本の安全に対する考え方の違い (労働政策研究、安全技術応用研究会「国際化時代の機械システム安全技術」(日刊工業新聞社)を基に清水建設作成)

著者所属機関・企業



各国の安全・健康・ウェルビーイング専門家が結集し、企業におけるウェルビーイング向上の重要性をあらゆる面から解き明かし、最強メソッドとしてのビジョン・ゼロを解説した実践書。2023年5月発刊。第1回 GISHW 会議において、(一社)セーフティグローバル推進機構の向殿政男会長より、海外から来日中の参加者全員に贈呈されました。



環境 ENVIRONMENT	社会 SOCIAL	ガバナンス GOVERNANCE
<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動</li> <li>資源の枯渇</li> <li>廃棄物</li> <li>公害</li> <li>森林破壊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権</li> <li>現代の奴隷制度</li> <li>児童労働</li> <li>労働条件</li> <li>労働関係</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収賄・汚職</li> <li>役員報酬</li> <li>取締役会の多様性と体制</li> <li>政治的ロビー活動、政治献金</li> <li>税務戦略</li> </ul>

図表 3-16 投資家が注目する ESG 関連データ (出所: PR)



図表 4-1 安全文化の構築 (出典: 筆者)



図表 4-2 ビジョン・ゼロのメソッド「ビジョン・ゼロ」に関する企業実践事例 (出典: 筆者)

IEC 白書 "Safety in the Future" の発行 (2020 年 11 月)



未来の世界の安全の礎とするべく、人と機械そして環境の協調で実現する新しい時代の安全手法を、世界的標準機関が公式文書としてまとめた白書。日本発、経済産業省主導で世界の安全専門家が協同編集。

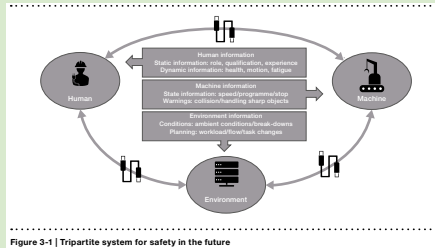


Figure 3-1 | Tripartite system for safety in the future

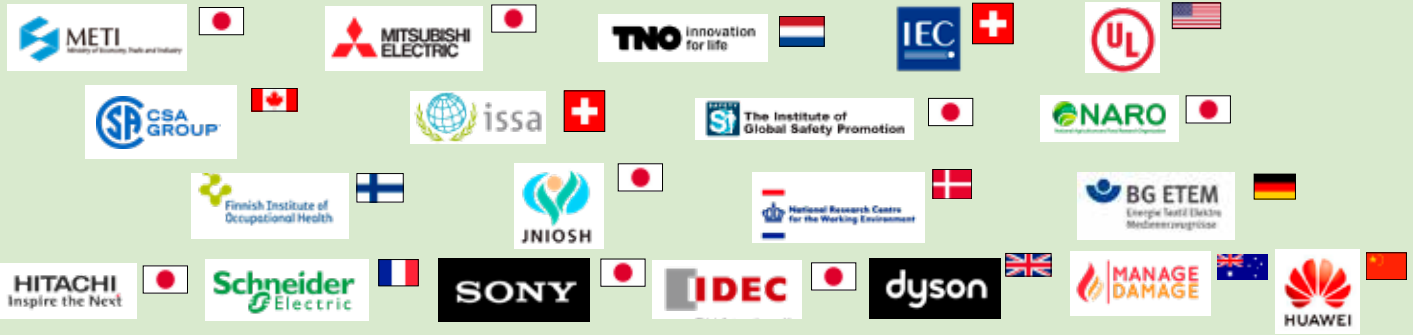


Figure 4-3 | Networked throughput for farm health and safety (Source: The National Agriculture and Food Research Organization (NARO))



Figure 2-4 | Vision Zero as integrating safety, health and well-being [20]

著者所属機関・企業



23rd World Congress on Safety and Health at Work Sydney 2023



安全・健康・ウェルビーイングに関わる国際機関および世界的企業の専門家が一堂に会す世界労働安全衛生会議。2023年11月にシドニーで開催される第23回会議では、GISHWのワーキンググループ1、2、3が集合し、EXPO2025における安全・健康・ウェルビーイング訴求について議論を深めます。



MS. SKYE BUATAVA  
Director  
SafeWork NSW



ワーキンググループ (WG) 1



世界大会  
(2024, 2025)

ワーキンググループ (WG) 2



シンポジウム  
(2023, 2024, 2025)

ワーキンググループ (WG) 3



展示会  
(2023, 2024, 2025)



Cocktail Party

Exhibitions

Int'l Well-being Tech Forum

Site Tours

Discover Japan

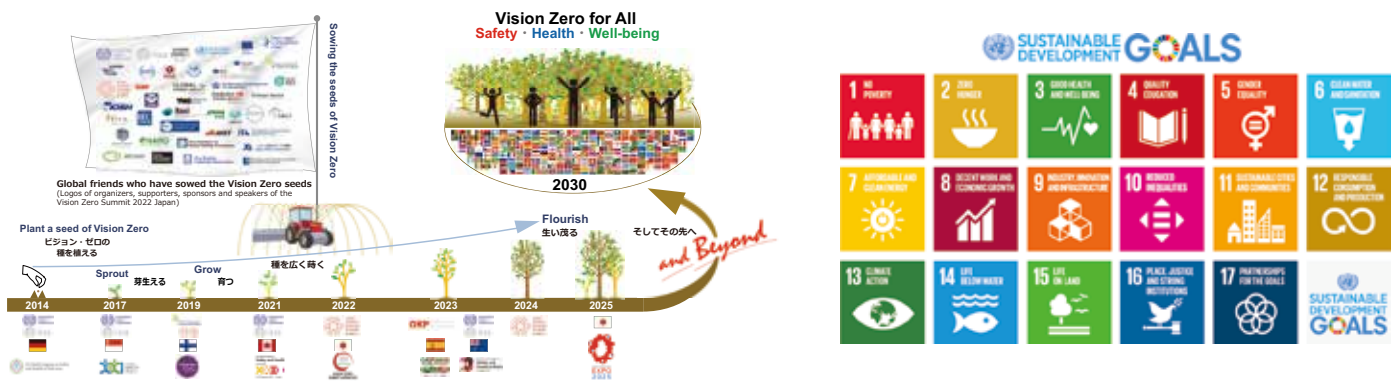
Publications

WCSH @Sydney





80億人とも言われる地球市民すべての人の安全、健康、ウェルビーイング向上を目指す Vision Zero for All (すべての人のためのビジョン・ゼロ)、そして EXPO2025 の「いのち輝く未来社会のデザイン」。このふたつは、誰一人取り残さない持続可能な社会を 2030 年までに実現しようという SDGs の理念と一致します。人類の生活は、人間の様々な労働を通じて相互に関連し、助け合うことで成り立っています。安全で健康的、そしてウェルビーイングに働けることは、私たちの生活・人生にプラスの影響を与えます。快適で安心できる環境で働ける人たちは、安心した穏やかな気持ちで家に帰り、家族や大切なひとと楽しい時間を過ごすことでしょう。そして、安全で健康的、ウェルビーイングな安心できる環境で働く従業員は、よりよい製品・サービスやイノベーションを生み出し、顧客、社会、企業、世界全体に様々な形での利益をもたらすのです。Vision Zero for All (すべての人のためのビジョン・ゼロ) の可能性は無限大。私たちが住むこの地球をもっと安全に、健康に、そしてウェルビーイングなものにするために、世界の労働安全衛生専門家が英知を結集します。



## Global Initiative for Safety, Health and Well-being @EXPO2025 and BEYOND 参加のお誘い

地球市民 80 億人の安全・健康・ウェルビーイング向上を実現するためには、労働安全衛生分野だけではなく、様々な分野の知見と経験が必要です。多くの国際・国内機関、団体、企業、市民ネットワークが参加し、一緒に行動することで、人類の究極の目標であるウェルビーイング向上を目指しましょう。志を同じにする仲間との交流やネットワークは、あなた自信の成長、ビジネスの発展にも役立ちます。未来をもっとよいものにするために、Global Initiative for Safety, Health, and Wellbeing @EXPO 2025 and Beyond (GISHW) に是非ご参加ください。力を合わせて活動してまいりましょう。

お問い合わせはこちらにお寄せください。

### The Global Initiative for Safety, Health and Well-being @EXPO2025 & BEYOND

- |                      |  |
|----------------------|--|
| 実行委員会 会長             | 向殿 政男 (IGSAP)  |
| 実行委員会 副会長            | 藤田 俊弘 (IGSAP) (toshihiro.fujita@idec.com)                          |
| 組織委員会 会長             | 武田 貞生 (IGSAP) (takedas@j-cert.com)                                 |
| ワーキンググループ (WG)1 会長   | Alan Stevens (IOSH) (Alan.Stevens@iosh.com)                        |
| ワーキンググループ (WG)1 副会長  | Marijana Zivkovic Mtegha (IOSH) (Marijana.ZivkovicMtegha@iosh.com) |
| ワーキンググループ (WG)2 会長   | Hans-Horst Konkolewsky (FIORP) (Konkolewsky@me.com)                |
| ワーキンググループ (WG)3 会長   | 林 英雄 (日刊工業新聞) (eiyu.hayashi@nikkan.press)                          |
| ワーキンググループ (WG)3 協同会長 | Lars Wismer (Messe Düsseldorf GmbH) (WismerL@messe-duesseldorf.de) |
| 組織委員会事務局             | 佐川 浩二 (IGSAP) (sagawak@j-cert.com)                                 |
|                      | 上原 壮広 (IGSAP) (ueharat@j-cert.com)                                 |
|                      | 山田 秀樹 (IGSAP) (hideki.yamada@idec.com)                             |

